



<今回はイベント報告です ご協力ありがとうございました>

防火防災訓練と安否確認訓練

- 日時・場所：2022年2月20日(日) 13時～14時55分 東久留米消防署新川出張所および新川町内
- 参加者：消防署での訓練 33名・安否確認訓練 23名・安否確認ボード掲出100世帯

曇り空の下、無事に訓練を実施できました。

①模擬消火器を利用した初期消火訓練です。

火事を見つけたら、「火事だあ～」と周りの人に大きな声で知らせ、消防署への連絡を促します。
 消火器を持って3～6m程度に安全を確保した場所へ近寄り、「ピン」消火器の栓を抜く、「ポン」ホースを取り出す、「パン」グリップを握る「ピン・ポン・パン」で火元の手前を狙って水をかけます。



②消火栓にスタンドパイプを設置してからホースによる放水訓練です。

常日頃から消火器や消火栓がどこにあるかを調べておくのも大切な訓練です。



③消防車見学と消防隊長への質問コーナーです。

- Q) 通報からどれぐらいの時間で出動しますか？
A) 通報を受けたら1分以内に消火活動へ向かいます。
- Q) 消防隊員の着ている服はどういったものですか？
A) 300度の熱に耐えられる素材で作られ、7～8Kg程の重さがあります。
- Q) ボンベの中身は何ですか？ どれぐらい使えますか？
A) ボンベの中身は圧縮空気、重さは10Kg、約25分間活動できます。
- Q) 消防車の値段は？
A) 価格は約3500万円です。7人乗りですが基本5人で出動します。
- Q) 消防車のサイレンがときどき違うことがあるのですが？
A) 救急救命で出動することがあり、その場合は救急車と同じサイレンです。



④昨年に引き続き、第2回となる安否確認訓練を行いました。

5つのグループに分けて、トランシーバーを片手に、担当地域を見回りました。
 安否確認ボードの掲示を127世帯中100世帯で確認ができました。
 割合として78.7%になります。
 ご協力いただきました皆様ありがとうございました。
 お宅によっては、安否確認ボードが回転しないように工夫をされていたり見やすい位置へ表示をしていただきました。
 今回は安否を確認した印として赤いシールを貼りました。



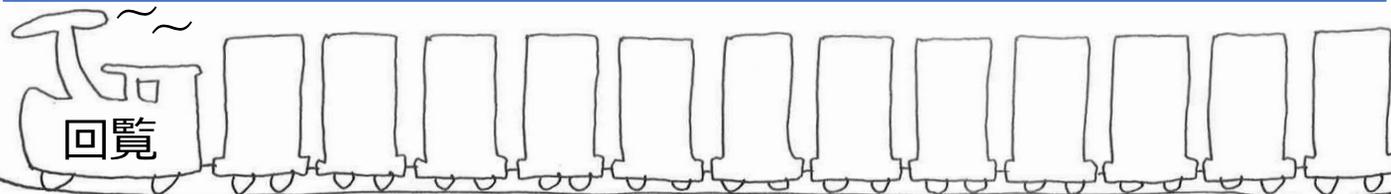
おかげさまで、無事に訓練を終了することができました。

寒い中ご参加いただきました会員の皆様、消防、市役所の関係者のご協力に深く感謝いたします。

「東久留米市新川町自治会ホームページ」には詳しいレポートがございます。ぜひご覧ください。



お問い合わせは 新川町自治会会長 西川哲夫 (471-0262) まで



必ず読んだ印をつけてから次の方へ回して下さい。停車時間は短めに!!